

こま武蔵台だより

2022年
9月発行

No.376



「うろこ雲の中着田」撮影:広報部 杉村久美子

いよいよ小中一貫校へ！

令和5年度より、武蔵台小学校で、小中学校が共に学校生活を送る「義務教育学校 武蔵台小中学校」として新たにスタートします。それに伴い、校舎・校庭の工事が行われます。

【工事予定期間】

- ・校庭：7/22～10/31 テニスコート(2面)の設置等
- ・校舎：7/22～8/31 美術室、技術室等の特別教室の設置等

今回は詳細をお伺いすべく、武蔵台小学校へ取材をさせていただきました。
ご協力ありがとうございました。



昭和55年に開校した武蔵台小学校と、平成元年に開校した武蔵台中学校は、校舎一体型の小中一貫校となります。上の写真は開校当初の小学校です。写真手前のプレハブ校舎がなつかしいですね。現在はビオトープになっています。

武蔵台小学校と中学校は

Q&A

小中一貫校に対する疑問をお答えいただきました！

Q.運動会等の行事を小中合同で行う機会がありますか？

→A.合同で行う行事も検討中です。また別々で行う場合もあります。

Q.校庭、プール、体育館等は小学生、中学生がどのように使用していくのでしょうか？

→A.小中学生が同じ施設を利用するため重なることがないよう、時間割を工夫しながら使用していきます。

Q.小中一貫校になった後、中学校の校舎はどうなるのでしょうか？

→A.今後の利用方法は市が検討します。

Q.制服はどのように変わのでしょうか？

→A.令和5年度は変わりません。令和5年度以降の制服については体育着、制服選定委員会を設置し、慎重に検討、協議を進めてまいります。

Q.現在は小中学校で始業時間が異なりますが、今後はどうなりますか？

→A.現在、小中学校間で検討中です。先進校の情報をもとに始業時間等を決定します。

(令和4年6月現在)



←開校当初、昭和55年時の上原校長先生。
許可いただき、卒業アルバムより抜粋いたしました。



1980年から42年で、新たな形のコミュニティスクールとなります。9年間の一貫した教育により小中ギャップの緩和・解消を目指します。

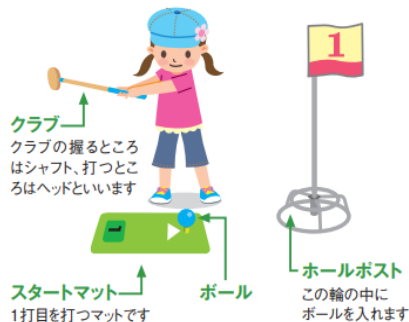
6月5日(日) 武蔵台小学校グラウンドにて「グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。

コースは、グラウンドを南北に分けて2コース用意され、それぞれ50m、30m、25m、15m、各2ホールずつで合計8ホールとなる日本グラウンド・ゴルフ協会の標準コースでした。

また参加者は1組3名でA組とB組に分かれて、それぞれ8組ずつの計48名で、サッカークラブの子供達が参加してくれたことから賑やかな大会になりました。

経験者はマイクラブやマイボールを持参しての参加ですが、クラブとボールを借りることも出来ます。

用具



(公社)日本グラウンド・ゴルフ協会HPより転載



午前9時20分からショート開会式とのことで、武蔵台・横手台地区スポーツ協会の上村会長の挨拶があり、ラジオ体操で体をほぐして競技開始となりました。

2コースともに、8組の参加者が8ホールに分かれ、一斉に始めて1ホールが終わると次のホールに進んでいきます。8ホールは30分ほどで回れ、休憩を挟んでコースを入れ替えて10時30分過ぎに終了となりました。

前半は6名、後半は2名の方がホールインワンを達成しました。

その後、集計の時間を利用して、ホールインワンゲームを行いました。かなり難しいようでホールポストまでの距離を短くしたり、何回もトライしたりして、結果は3名だけでした。

大会の優勝は高橋義明様で33打、準優勝は吉田いつ子様で37打、第3位は長澤雄三様で38打というスコアでした。

表彰式でのサプライズ！
飛び賞貰って嬉しい！→



←左から吉田様、高橋様、長澤様



授賞された皆さま、おめでとうございます。また参加された皆さま、お疲れさまでした。今回参加できなかった方も次回参加してみたいかと思いますが、ルールは日本グラウンド・ゴルフ協会のホームページに出っていますが、16条と短く分かりやすいものです。始めるにはハードルが低いと思いますが、奥は深そうです。

「第1回団地内清掃」と「武蔵台クリーン友の会※」による道路美化活動が実施されました。

団地内一斉清掃は今年度2回予定されており、1回目が5月22日(日)に行われました。

一斉清掃に参加された皆様、大変お疲れさまでした。また、快く撮影を許可していただきありがとうございました。

一斉清掃は日にちが決められていますので、仕事や急用など参加できない方は班長さんに一声かけていただき、事前に掃除を済ませるなど同じ班の皆さまが気持ちよく活動できるようにしていただくとよいと思います。また、担当エリアがよく分からないという方は班長さんやご近所の方にお聞きください。

次回は定例総会の議案書では11月7日の予定です。改めてお知らせがあると思いますので、掲示板などでご確認ください。



一方、道路美化活動は6月26日(日)はアカシヤ通り、7月3日(日)は滝不動通りと2回に分けて行われ、参加者はそれぞれ13名と16名でした。26日は非常に暑く、また3日は小雨が時折パラつく中、参加された方には頭の下がる思いです。

本当にご苦勞様でした。

友の会の田中会長をはじめ参加者は9時に自治会館前、滝不動通りに集合して、土井副会長から「暑いので水分補給や休憩を適宜とりながら、熱中症やケガに気を付けて作業を行ってください」とのあいさつと作業の説明の後、持参した枝切りばさみや自治会館の倉庫に備えてある草刈り機、なたなどを手に、歩道上、車道脇や樹木周りの雑草の除去、草木の剪定、アカシヤのヒコバエ(根元部分から生える不要な若芽や枝)の除去を行いました。団地内一斉清掃と比べると道路美化活動のエリアは広く、取材してみて大変さがよく分かりました。



※「武蔵台クリーン友の会」は、日高市の道路美化活動団体としての認定を受けており、現在、構成員は38名で、活動区域はアカシヤ通り(自治会館前からかわせみ通りまで)と滝不動通り(木綿沢交差点から滝不動まで)の延長約1,100mとなっています。

参加者は多い方がよいと思いますので、参加してみようという方は☎ 982-3904(こま武蔵台自治会館)までご連絡ください。

こま武蔵台サロン「盆栽教室」

5月11日(水) 本年度初回の武蔵台サロンの「盆栽教室」が開催されました。
講師は武蔵台公民館の盆栽水石展の企画理事でもある菅野勝利氏。新しい素焼きの浅鉢と、5年物のコナラの苗木が準備され、これを盆栽に仕立てるため、基本実技の指導が行われました。
1時間半という短い時間でしたが、参加者は新しく出来た自分の鉢の可愛い苗木に目を細めながら、秋の紅葉や先の成長を楽しんでいました。
6月は「俳句教室」が開催。7月と8月は暑さのため中止。今後の企画は検討中です。
首藤文化厚生部長に話を聞いたところ「コロナ禍において、会員の安全に考慮しつつも、文化厚生部の役割である会員相互の親睦と交流の出来る活動を企画していきたい」と熱く語ってくれました。



移送サービス事業(平成29年10月より開始)

7月10日(日) 国政選挙の日、投票会場の公民館駐車場に赤い軽自動車『おりづる号』が停まっている。投票を済ませたご夫婦が出てくる。ご主人は足元がやや不安定で、奥様に支えられて車に向かう。待っていたドライバーが「お疲れさまでした」と声を掛け車のドアを開ける。2人は車に乗り込み自宅に戻る。
これは自宅から投票所への移送サービスである。本来、業務は日曜日休みだが、選挙日は特別で30分毎のスケジュールで何組も利用していた。利用者からは「移送サービスがなかったら来られなかった」、「普段から助かっています」との声が聞かれた。
利用者は坂道の多いこの地区内での移動が大変な方で70~90歳、ショッピングセンターへの買い物や受診等への利用が多いという。
こま武蔵台地区も2026年には70歳以上の高齢化率が56%に達すると予想され、坂道の多い地区として、この移送サービスはますます大きな需要があると考えられます。事業を支えるボランティアも齢を重ねていることもあり、常にボランティアは募集中です。

- ・ 利用エリアは武蔵台地区内(永田横手のコンビニや歯科もふくまれます)
- ・ 月曜日から土曜日の9:00~17:00まで
- ・ 前日までに電話予約 ☎ 080-9416-2035
- ・ 料金はガソリン代のみで、9名の無償ボランティアの方々によって支えられています。

※詳しい内容は移送サービスセンターにお問い合わせください。

☎ 080-9416-2035



【武蔵台の今昔】

昭和五二年春（一九七七年）、武蔵台の第一期分譲が始まり、以来、四五十年になります。

一〇年ひと昔と言いますが、間もなく半世紀になろうとしています。当時の住所表示（現四丁目）は「人間郡日高町大字久保小字七曲り」いかにも、キツネやタヌキが出そうですが、実際にタヌキがよく出没しました。

一丁目から七丁目まで、次々と分譲が広がりましたが、最初に道路が整備され、建築が始まるまでの間は、道路は閉鎖され、特に横手台へ抜ける道路は、キャッチボールやバドミントン、テニスや自転車の練習等々、子供や家族連れの、格好の遊び場になっていました。

転入して来る方の多くが、三〇代、四〇代。まさに、子育て真っ只中の世代で、最近でこそ聞かれなくなりましたが、地元からは「新住民」と呼ばれていました。

ショッピングセンターには、スーパーマーケットがあり、本屋さん、肉屋さん、八百屋さん、お寿司屋さん、お茶屋さん、お団子屋さん、写真館、銀行もあって、生活・買い物に不自由はありませんでした。

初めて庭付きマイホームを手に入れた方が多く、ペットを飼ったり、休日には、庭の手入れや周辺散策、特に四丁目西北端から下った横手に抜ける遊歩道は、小さな沢があり、沢ガニがいたり、ホタルが飛んだり、人気のコースでした。

植林直後の背丈ぐらいいしかなかった杉やヒノキが、今や大木になっていますが、手入れをされぬまま放置されているようです。

庭でのバーベキューも盛んで、週末には、バーベキューを楽しむ光景がよく見られました。家族だけでなく、友人を招いたり、ご近所さんや子供の友達に加わったり、時には、通りすがりの方に声を掛けたり、同世代が多かったせいか、地域のコミュニケーションづくりにも役立っていたと思います。

「〇〇さん雨ですよー」
夕立があった時など、近所への声掛けがよく聞かれました。

当時は、共働きの方は少なかったように思いますが、昭和の色濃い、都会でもなく、田舎でもなく、新興住宅街ならではの、活気ある楽しい街でした。

子育て環境としても申し分がなかったのですが、問題と言えば、団地内に、学校がなかったことです。

小学校も中学校もなく、子供たちは、高麗小・高麗中学に、子供の足で、片道一時間の道のりを、歩いて通っていました。

小学生は、通学班を決め、各班長が先導しての集団登下校でしたが、団地内を一步出ると、歩道も未整備で、大型ダンブカーが、子供たちの肩をかすめるようにすれ違い、中には、四年生程度の班長が、一年生を引率するなど、父母の心配は、大変なものでしたが、昭和五五年、待望の武蔵台小学校が開校され、これらの不安は解消されました。

通りを挟んで、一〇人以上の子供がいたり、毎日元気な声があふれていました。

高麗駅の通勤時間帯には、ホームから人が溢れそうなほどで、まさにラッシュアワーでした。

【あれから四十年】
新しく建て替えられた家もありますが、街路樹や庭木の経年変化とともに、何より変わったのが、子供の減少と住民の顔ぶれです。

我が班一〇軒中、七軒が入れ替わっています。分譲時から居られる方は、殆どが、七〇代後半以降になっています。

【こま武蔵台自治会】

武蔵台小学校が開校されて間もなく、有志の方々が発起人となり、「こま武蔵台自治会」が誕生しました。住所表示が「久保」から「武蔵台」に変わりましたが、「こま武蔵台」を望む声もあり、それらの方の思いが、「こま武蔵台自治会」に込められたのではないかと思います。

リレー随想

広報部員が担当しています

「反省」

K.T

二年前の出来事です。武蔵台から飯能までバイクで行き、用事を済ませて帰宅する際に、バイクの鍵を無くし、予備の鍵で帰った時に、飯能斎場の信号を左折時に転倒し、左足の脛を骨折しました。

あとになって思ったのですが、鍵を無くしたことが事故の前触れだった気がします。

年末だったので大晦日は病院で、激痛に耐えながらの年越しでしたが、事故を踏まえて人生を反省し、今後は同じ失敗を繰り返さず悔いのない人生を送ろうと思っています。

「庭の恵み」

S.S

「花より団子」の我が家には五種七本の果樹があります。三十一年前に植えた元木は朽ち、その脇根から育ったサクラランボは、三月中旬に白い花を咲かせ、五月には実を成らせます。

今までは鳥たちのデザートでしたが、今年はネットを張り、実を大きくする為、摘果をしました。

真赤なピカピカの実を収穫しました。一センチ大ですが、甘酸っぱく確かにサクラランボの味です。

御馳走さま♪



【体育祭開催中止のお知らせ】

九月二五日(日)に予定しておりました「武蔵台・横手台地区体育祭」ですが新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、開催中止とさせていただきます。ご参加を予定していた皆様には、ご迷惑おかけすることとなり申し訳ございませんが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

体育部長

おくやみ

謹んでお悔やみもうしあげます。

吉田 浩子さま (八一歳) 二丁目

ご逝去日 二〇二二年五月一日 永眠

高木 昭恵さま (九二歳) 四丁目

ご逝去日 二〇二二年六月一日 永眠

田中 雄三さま (八十歳) 四丁目

ご逝去日 二〇二二年七月七日 永眠

編集後記

今号の編集部は結成されたばかり、未経験者も多くつたない部分もありますが、力を合わせて作りあげました。

今年度は、あと二回の発行を予定しており、各号毎に編集部を組んでいきます。各号での特色を楽しんでいただけたら幸いです。

コロナ第七波も未だに猛威をふるい、暑さも和らぐ気配をみせませんが、皆様におかれましてはくれぐれもご自愛のほどお祈り申し上げます。

広報部 寺嶋

こま武蔵台自治会 2022年9月発行(第376号)

発行日 2022年9月1日 編集発行 こま武蔵台自治会広報部(日高市武蔵台1-47-1) 042-982-3904

発行原価 24.47円(税込み) 2,500部

本誌にてお預かりした個人情報、事前に承諾を受けたうえで記載しております。また、本誌以外への使用は一切せず、不要となった情報についてはすべて廃棄またはお返ししております。